

神樂歌筆記

第七段 ~ 第十二段

第七段

一ッ ひとことはなし ひ きしん 一言話は日の寄進に

おいばかりをかけておく

向別人說一點父母神的事情即是
作聖勞，把天理教的香味盡播給世
人知道。

ふか　　こころ　　あ
二ッ　　深い心があるなれば

たれ　　と　　な
誰も止めるで無いほどに

對父母神有深厚信仰心的話，就任
誰也沒辦法阻止。

三ッ みなせかい こころ でんじ
皆世界の心には田地
い もの な
の要らぬ者は無い

世界上所有人的心裡，都希望得到
田地(沒有人不要)。

四ッ ^よ良^じき^あ地^{いちれつ}が有らば一列に

^{たれ}誰^ほも^あ欲^あしいで有ろうがな

如果有適合耕種的良田，世上的人
任誰都想要吧。

五ッ ^{いず}何れの方^{かた}も^{おな}同じ事^{こと} ^{わし}私も

^あ彼の^じ地^{もと}を求めたい

何處何方人都同様，我當然也希望
得到那塊地。

六ッ ^{むり}無理に^いどうせと言わんで

な ^{そこ}其處は^{めいめい}銘銘の^{むねしだい}胸次第

父母神不會無理地叫人去做這、做那。(能不能得到)是依據每個人的存心(胸)。

七ッ なん でんじ ほ 何でも田地が欲しいから

あたえ なにほど い 價は何程要るとても

不論如何都想要得到良田，因此也要付出相當(何種)程度的代價。

やしき かみ でんじ ま
八ッ 屋敷は神の田地やで 播

たね みな は
いたる種は皆生える

宅院是父母神的田地，在這裡播下的種子，皆能夠順利生長萌芽。

九ッ こ こ こ よ でんじ 此處は此の世の田地なら

わし しっか たね ま
私も確り種を播こ

既然這裡是此世上(最好)的田地，我
也要在這裡好好地播下種子。

こ たびいちれつ
十_ド 此の度一列に ようこそ

たね ま き
種を播きに来た

這一次，歡迎所有人回到原地來播
下種子。

たね ま そ かた こえ
種を播いたる其の方は 肥を
お つく と
置かずに作り取り

播下種子的(那個)人，不必另外施加
肥料，作物也能豐富取收。

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多

第八段

ひろ　　せ　　か　　い　　く　　に　　な　　か　　い　　し
一ッ　　廣い世界や國中に　　石も
た　　き　　な
立ち木も無いかいな

在廣大的世界、國家之中，石材、
建木等建設所需要的材料，難道會
沒有嗎？

ふ し ぎ ふ し ん
二ッ 不思議な普請をするなれ
たれ たの
ど 誰に頼みはかけんでな

不可思議的建設就要開始了，但不
需要去依賴、拜託任何人。

三ッ みなだんだん 皆段段と世界から せかい 寄り よ
き 来た事なら出来てくる こと で け

世界的人們漸漸聚集而來的話，不可思議的建設就能順利完成。

四ッ よく　　こころ　　う　　わす　　とく
欲の心を打ち忘れ　篤

こころ　　さだ
と心を定めかけ

掃除心塵，徹底忘卻慾望的存心，
下定決心(依隨父母神的教導)要變得
更謹慎、細心。

い つ ま で み あ

五ッ 何時迄見合わせいたるとも

うち

な

内からするのや無いほどに

(為建設的事情)不停地觀望、互相討論，但珍奇的建設不是儘靠內部人的力量就能完成的。

ろく^っ むしょう せ
六 無性やたらに急きこむな
むね^ッ うち しあん
胸の内より思案せよ

不要亂無頭緒地空著急，(該怎麼做)
在自己的心底好好地思量。

なに　　ころ　　す
七ッ　　何か心が澄んだなら

はや　　ふしん　　と
早く普請に取りかけれ

心境澄淨下來的話，就趕快著手進行建設。

八ッ ^{やま} ^{なか} ^い 山の中へと入りこんで

^{いし} ^た ^き ^み 石も立ち木も見ておいた

到山裡面去尋找建設所需的材料，石材、建木父母神都已經準備好了(等待我們去牽引)。

九ッ ^こ此^きの^き木^あ伐^いろ^しう^いか^し彼^しの^い石^しと

^{おも}思^かえ^みど^む神^ねの^し胸^だ次第^い

這棵樹該砍下來嗎，那塊石頭要搬嗎...都需依從父母神的心意。

十_ド ^こ此^{たびいちれつ}の度一^す列^きに 澄み切り
ましたが^{むね}胸^{うち}の内

這一次(如今)，世上人們的心都已澄清（就要著手完成不可思議的建設）。

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多

第九段

ひろ　　せ　　か　　い　　う　　ま　　わ　　い　　っ
一ッ　　廣い世界を打ち回り　　一
に　　た　　す　　ゆ
せん二せんで助け行く

在廣大的世界裡迴繞著救人，即使
只有一錢二錢的御供也要前去(也解
釋為「一洗二洗」：一次又一次洗滌人心)。

ふじゆうな
二ッ 不自由無きようにしてや
かみ　　こころ　　もた
らう　　神の心に凭れつけ

全心憑靠父母神，聽從父母神的教導，就不會再有身體不自由的痛苦(生病)。

三ッ ^み見れば^{せ かい}世界の^{こころ}心には

^{よく}欲が^ま混じり^あて有るほどに

看看世人的心，大家的心都夾雜著
慾望而混濁。

四ッ ^{よく} ^あ ^や 欲が有るなら止めてくれ
^{かみ} ^う ^と ^で ^け 神の受け取り出来んから

有慾望的話請把它戒除，因為充滿
慾望的心無法獲得父母神授予的
祐護（祈求的事情父母神沒辦法接受）。

五ッ いず かた おな こと しあん 何れの方も同じ事 思案

ただ つ こ 定めて随いて来い

不管任何人都是一樣，在心裡思量、下定決心以後(戒除慾望之心)再跟隨過來。

六ッ ^{む り}無理^でに出ようと^い言う^なで無
^{こころさだ}心^つ定め^{まで}の着^く迄^は
い

父母神不會強迫人踏出專心拯救
的步伐，而是要人們的心堅定下來
以後才前去拯救。

七ッ こ たびいちれつ なかなか此の度一列に

しつか しあん 確り思案をせにやならん

此時此刻這個重要的時節，世上的人都應該要徹底思量，在內心確實地反省。

八ッ やま なか 山の中でも あ ち こ ち 彼方此方と

て ん り わ う つ と
天理王の勤めする

到高山裡、還不知道父母神名字的地方去宣揚神名、奉行聖舞。

九ッ ^{こ こ っと} 此處で勤めをしていれど

^{むね わか もの な}
胸の解りた者は無い

雖然大家已在這裡奉行聖舞，但卻
沒有人真正了解父母神的神意。

かみ な よ だ はや
とても神名を呼び出せば 早

こ も と たず で
く此元へ尋ね出よ

若是呼喚父母神名字的話，就趕快
回到原地來尋訪父母神的真意吧。

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多

第十段

ひと　　こころ　　い
一ッ　　人の心と言うものは
ちよつと　　わか
一寸に解らんものなるぞ

說人的心是什麼模樣啊，實在是難以捉摸(也可以解釋為：人們的心，一點也不了解父母神的心)。

ふ し ぎ たす
二ッ 不思議な助けをしていれ
あらわ で いまはじ
ど 現れ出るのが今始め

不可思議的拯救雖然不曾停止過，
但父母神顯現到人世間(說明康樂生活
的道理)卻是第一次。

三ッ ^{みず}水 ^{なか}の中 ^こ此 ^{どろ}の泥 ^{はや}を 早
^{いだ}く出してもらいたい

(心塵就像)水裡的污泥，父母神希望
人們趕快將它淘出來。

よく き な どろみず
四ッ 欲に切り無い泥水や

こころ す き ごくらく や
心澄み切れ極樂哉

慾望無窮的心如同泥水般，徹底澄
淨之後，就會像到極樂淨土一般幸
福美滿。

五ッ い つ い つ ま で こ こと 何時何時迄も此の事は

はなし たね な 話の種に成るほどに

不管到何時父母神說的都是這件事情(掃除慾望)，這些話將成為話題的種子(不斷被傳頌的話題)。

六ッ むご 酷い ことば 言葉 だ を出したるも

はや 早く たす 助け いそ を急ぐから

殘酷、嚴厲的言語也不惜說出口，
是因為想早日拯救子女，內心非常
著急。

七ッ ^{なんぎ}難儀するの ^{こころ}も心から

^わ我が ^{みうら}身恨み ^あで有るほどに

會遭遇不幸、痛苦的事情，都是因為自己不良的存心所致，要怨恨的話也只能怨恨我自己(不能怪別人)。

八ッ ^{やまい}病 ^{つら}は ^{もの}辛い物なれど ^{もと}元
^しを ^{もの}知り ^なたる者は無い

生病是很難受的事情，可是真正的
病源卻無人知道。

こ たびまで いちれつ やまい
九ッ 此の度迄は一系列に 病

もと し な
の元は知れ無んだ

一直到這次(現在)為止，世人都無法
了解疾病的真正原因。

こ たびあらわ やまい もと
十_ド 此の度現れた 病の元
 ころ
は心から

這一次父母神顯現於世，(透過教祖教導世人)疾病的根源，其實是來自每個人的內心。

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多

第十一段

一ッ ^ひ ^{もとしよやしき} ^{かみ}
日の本庄屋敷の 神の
^{やかた} ^{さだ}
館のちば定め

日本大和地區的宅院，是父母神鎮坐之地，在這裡確定了原地的位置。

二ッ ふうふ 夫婦そろって日 ひ の寄進 きしん

こ 此れが第一物種哉 だいいちものだね や

夫婦同心一起參加聖勞，這是最好的
的種苗(將來定能蒙受祐護)。

み せ か い だ ん だ ん
三ッ 見れば世界が段段と

も つ こ に の ひ き し ん
畚担うて日の寄進

看啊！世界上的人們漸漸地回到
原地，踴躍地抬筐作聖勞。

四ッ よく わす ひ き し ん こ 欲を忘れて日の寄進 此

だいいちこえ
れが第一肥となる

忘卻慾望，勤作聖勞。這是讓人生
順利蒙獲祐護最好的肥料。

い つ い つ ま で つち も
五ッ 何時何時迄も土持ちや

ま あ わし ゆ
未だ有るならば私も行こ

抬土聖勞不要停止(何時都要持續下去)，還有剩下沒做完的我也要去幫忙。

六ッ ^{む り と な}無理に止めるや無いほど
^{こころ あ たれ}に 心有るなら誰なりと

只要有心誰都可以參加聖勞，任誰也無法阻止(沒道理地阻止聖勞必定會徒勞無效)。

七ッ なに めずら つち も 何か珍し土持ちや こ 此

き し ん
れが寄進となるならば

為父母神奉獻心力、抬土聖勞，多
麼珍奇不可思議啊！

やしき　　つち　　ほ　　と
八ッ　　屋敷の土を掘り取りて

ところ　か
處　變えるばかりやで

挖掘宅院的泥土，從這裡搬過去，
再從那裡搬過來，只是變換地方而
已(就像小孩子玩泥巴一樣有趣)。

こ たびまで いちれつ むね
九ッ 此の度迄は一系列に 胸が

わか ざんねん
解らん残念な

直到現在，世上的人們都不了解父母神意，父母神感到非常遺憾。

十^ト ^{ことし}今年^{こえ}は^お肥置^{じゅうぶんもの}かず ^{じゅうぶんもの}十分物
^{つく}を^と作り取り

(因為在原地奉獻了真誠)今年的農作物不需要另外施加肥料，也有十足的收成。

たの ありがた
やれ頼もしや有難や

啊~值得信賴！真是太感謝了呀~

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多

第十二段

一ッ ^{いち} ^{だいく} ^{うかが} ^{なに}
一に大工の伺いに何

^{こと} ^{まか}
かの事も任せおく

要請示神意(伺い)的時候，第一先去
找木匠(大工，指飯降)，任何事都委
任給他。

二ッ ^{ふ し ぎ} 不思議 ^{ふ し ん} な普請をするなら
ば ^{うかが} 伺 ^た い立てて言 ^い つけよ

要進行不可思議的建設時，先請示
神意，並聽從神意的吩咐。

三ッ ^{みなせかい}皆世界から ^{だんだん}段段と ^{きた}来る
^{だいく}大工に においかけ

世界各地的木匠漸漸聚集過來。對這些來的木匠們，(在原地的人)要向他們播香、傳達父母神意。

四ッ ^よ良^{とうりょう}き棟梁^あが有るならば

^{はや}早く^{こもと}此元^よへ寄せておけ

發現優良的棟樑(為實現康樂生活，參與康樂建設的人才)，趕快帶到原地這裡來。

五ッ いず とうりょう よ に ん い はや
何れ棟梁四人要る 早

うかが た み
く伺い立てて見よ

無論如何建設需要四名棟樑(領導建設的工作)，(該由誰來擔任)快點請示神意看看吧。

六ッ ^{む り こ い}無理に來いとは言わんで
^{いず だんだん つ く}な 何れ段段随き來るで

父母神不會強迫人來參加建設，時機到了，人們會漸漸跟隨父母神汇集過來。

七ッ ^{なに}何か ^{めずら}珍 ^こし ^{ふしん}此の普請 ^しし
^{こと}かけた事 ^きなら ^な切りは無 ^いい

這是何等珍奇不可思議的建設
啊！一旦著手進行的事情，就要一
直持續下去(沒有結束的時候)。

八ッ やま なか ゆ 山の中へと行くならば

あら き とうりょう つ ゆ 荒木棟梁連れて行け

要前往深山中傳達父母神意的
話，務必要與荒木棟樑(充滿熱忱不
怕艱難的人才)一起前往。

こ こ ざ い く とうりょう
九ッ 此れは小細工棟梁や

たてまえとうりょう こ かな
建前棟梁此れ鉋

這是負責裝潢的細木工師傅...還有上樑的師傅...這是專門鉋削的師傅。

十_ド ^こ此^{たび いちれつ}の^{だいく}度^{にん}一^に列^にに ^{だいく}大^{にん}工^のの^{にん}人^{にん}

も ^きそ^ろい^き来^たた

這一次，人們都聚集到原地來，需要的木匠人材都到齊了！（開始進行建設！）

南無天理歐諾彌格多 南無天

理歐諾彌格多